

RPAによる作業自動化の共同実証実験審査基準

1 目的

本審査基準は、東京都が公募する「RPAによる作業自動化の共同実証実験（以下「実証実験」という。）」の協力者の選定における審査基準等を示すものである。

2 審査項目及び配点

審査項目	区分	配点
1 技術力・企画力		
(1) RPAの活用にあたっての課題・問題意識に対する取組・提案		
① RPAの活用により、どの程度の効果を見込んでいるか。 また、効果の算出方法は妥当か	必須	20
② 業務の性質に応じた適切なRPAソフトウェアの活用が計画されているか	必須	10
③ RPAを適用する業務を選定する適切な手法・プロセスが、明確に示されているか	必須	20
④ 臨時業務の発生や人事異動等により生じる担当者の変更及び法令・制度の改正に伴う事務フローの変更がある中で、RPAを継続的に機能させていくために必要なことを明らかにするための検証について具体的かつ実現可能な形で提案されているか	必須	20
(2) 実証実験にあたって職員への研修、技術的な問合せ対応等が十分に計画されているか	必須	20
(3) シンククライアント環境への対応 シンククライアント環境下における実証実験の実施が可能な場合は、対処方法が具体的に示されているか	任意	10
(4) 追加提案 その他、本実証実験の目的を果たす上で有益な提案が為されているか	任意	10
2 事業の遂行能力		
(1) 実施スケジュール 実証実験の実施スケジュールが、具体的かつ実現可能な形で提案されているか	必須	20
(2) 実施体制 十分な実施体制が準備されているか	必須	20
(3) 導入等支援実績 過去にRPAの導入・活用支援を行った実績を有しているか	任意	10

3 採点方法

各審査項目について、委員会の各委員が0～4の5段階で採点し、各審査項目の配点を得点率で乗じて、合計したものを得点とする。次に、各委員の審査結果（得点）の平均を算出し、これをもって各提案者の順位を決定する。

なお、平均の算出においては、小数点以下第1位までを有効とし、小数点以下第2位を四捨五入する。

採点	審査の考え方	得点率
0	提案等が全くなされていない	0
1	非常に劣っている	0.25
2	劣っている	0.5
3	優れている	0.75
4	非常に優れている	1.0